



## 2021年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所

コード番号 3421 URL <https://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 武田 浩 TEL 03-3759-5181

四半期報告書提出予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期第1四半期の連結業績（2020年8月1日～2020年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第1四半期	8,955	4.4	762	98.0	832	90.2	550	110.8
2020年7月期第1四半期	8,579	10.2	385	34.6	437	24.1	261	14.5

(注) 包括利益 2021年7月期第1四半期 604百万円 (113.0%) 2020年7月期第1四半期 283百万円 (36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第1四半期	32.18	—
2020年7月期第1四半期	14.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第1四半期	53,792	38,105	70.8	2,314.50
2020年7月期	54,188	39,240	72.4	2,234.17

(参考) 自己資本 2021年7月期第1四半期 38,105百万円 2020年7月期 39,240百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年7月期	—	—	—	—	—
2021年7月期（予想）	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,660	7.2	1,180	85.6	1,310	76.6	770	74.3	45.87
通期	35,000	1.2	1,450	△23.3	1,660	△21.4	930	△31.7	55.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年12月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期1Q	17,922,429株	2020年7月期	17,922,429株
② 期末自己株式数	2021年7月期1Q	1,458,536株	2020年7月期	358,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期1Q	17,109,545株	2020年7月期1Q	17,563,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率(%)
売上高	8,579	8,955	4.4
営業利益	385	762	98.0
経常利益	437	832	90.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	261	550	110.8

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、政府による経済対策の効果もあり、一部持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響再拡大の懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの経営環境について概観いたしますと、鋼製物置市場では、持家・分譲一戸建住宅の新設着工需要の落ち込みが続いている一方、緊急事態宣言発令期間のペントアップ需要が一巡した後も、暮らしの中での収納ニーズが高まり、鋼製物置の需要は堅調に推移しました。オフィス家具市場では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う在宅勤務の普及、企業業績の悪化に伴う投資抑制や経費削減により、オフィス家具の需要は弱含みで推移しました。なお、当第1四半期連結累計期間における主要材料の平均鋼材価格は、引き続き高止まりで推移しています。

このような経営環境のなか、当社グループは、お客さまからの要望に応えるべく、安定的な製品供給に努めました。この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,955百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益762百万円(前年同期比98.0%増)、経常利益832百万円(前年同期比90.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益550百万円(前年同期比110.8%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	6,140	6,477	337	743	1,047	303
オフィス家具	2,439	2,477	38	△67	△18	49
合計	8,579	8,955	375	676	1,028	352

(鋼製物置事業)

暮らしの中での収納ニーズが高まり、小型製品及び一般製品は受注が好調に推移し増収となりましたが、ガレージ・イナバ倉庫は前年同期の消費増税前の駆込み需要の反動もあり減収となりました。

この結果、鋼製物置事業の売上高は、6,477百万円(前年同期比5.5%増)となり、前年同期に比べ337百万円増加しました。セグメント損益は、増収と広告宣伝費等の経費削減により、1,047百万円の利益(前年同期比40.8%増)となり、前年同期に比べ303百万円増加しました。

(オフィス家具事業)

企業業績の悪化等を背景に、小口案件の投資抑制や様子見により、主力製品である机、椅子及び壁面収納庫は受注が低調に推移し減収となりましたが、その他家具は別注品の大口受注により増収となりました。

この結果、オフィス家具の売上高は、2,477百万円(前年同期比1.6%増)となり、前年同期に比べ38百万円増加しました。セグメント損益は、増収と原価低減により前年同期に比べ49百万円改善し、18百万円の損失(前年同期は67百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末 (百万円)	当第1四半期連結会計期間末 (百万円)	増減(百万円)
流動資産	27,761	26,649	△1,112
固定資産	26,426	27,142	716
総資産	54,188	53,792	△396
流動負債	12,126	12,848	721
固定負債	2,820	2,837	17
負債合計	14,947	15,686	739
純資産	39,240	38,105	△1,135

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、26,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,112百万円減少しました。主な変動要因は、自己株式の取得、配当支払、納税支払、有価証券の取得等による現金及び預金の減少3,216百万円、売上高増加に伴う受取手形及び売掛金の増加564百万円、電子記録債権の増加376百万円、金銭信託取得による有価証券の増加999百万円です。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、27,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ716百万円増加しました。主な変動要因は、静岡営業所・静岡配送センターの建築及び犬山工場の生産ライン再構築に伴う有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の増加750百万円です。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産は、53,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ396百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、12,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ721百万円増加しました。主な変動要因は、仕入増加に伴う支払手形及び買掛金の増加251百万円、利益増加に伴う未払法人税等の増加118百万円、賞与引当金の増加326百万円です。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、2,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しました。主な変動要因は、役員株式給付引当金の増加7百万円、退職給付に係る負債の増加9百万円です。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、15,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ739百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、38,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,135百万円減少しました。主な変動要因は、自己株式の取得1,509百万円による減少、前期の期末配当230百万円の実施による利益剰余金の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益550百万円を計上したことによる利益剰余金の増加です。

(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年9月11日に公表しました2021年7月期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日(2020年12月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,687,450	11,470,705
受取手形及び売掛金	6,300,645	6,865,518
電子記録債権	2,157,109	2,533,197
有価証券	1,500,110	2,500,010
商品及び製品	2,137,566	2,141,014
仕掛品	291,521	405,948
原材料及び貯蔵品	374,001	395,392
その他	323,725	362,207
貸倒引当金	△10,548	△24,756
流動資産合計	27,761,582	26,649,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,010,810	6,944,756
機械装置及び運搬具(純額)	2,969,311	2,842,986
土地	11,525,117	11,525,117
その他(純額)	1,311,847	2,069,404
有形固定資産合計	22,817,086	23,382,264
無形固定資産	296,044	264,589
投資その他の資産		
その他	3,313,368	3,499,858
貸倒引当金	△0	△3,898
投資その他の資産合計	3,313,368	3,495,960
固定資産合計	26,426,500	27,142,814
資産合計	54,188,083	53,792,052
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,303,950	4,555,848
電子記録債務	4,043,386	4,129,431
未払法人税等	304,578	422,693
賞与引当金	315,246	641,802
その他	3,159,358	3,098,603
流動負債合計	12,126,520	12,848,379
固定負債		
役員退職慰労引当金	10,608	12,438
役員株式給付引当金	103,687	111,412
退職給付に係る負債	1,282,917	1,292,575
その他	1,423,550	1,421,553
固定負債合計	2,820,764	2,837,980
負債合計	14,947,285	15,686,359

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	1,016,874	1,016,874
利益剰余金	37,281,232	37,601,772
自己株式	△334,892	△1,844,092
株主資本合計	39,095,262	37,906,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,312	162,449
退職給付に係る調整累計額	34,222	36,641
その他の包括利益累計額合計	145,534	199,090
純資産合計	39,240,797	38,105,693
負債純資産合計	54,188,083	53,792,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
売上高	8,579,842	8,955,456
売上原価	6,118,876	6,232,384
売上総利益	2,460,965	2,723,072
販売費及び一般管理費	2,075,923	1,960,780
営業利益	385,041	762,291
営業外収益		
受取利息	1,285	1,402
受取配当金	557	569
作業くず売却益	20,957	23,977
電力販売収益	23,398	21,351
助成金収入	773	16,630
雑収入	15,259	14,866
営業外収益合計	62,232	78,798
営業外費用		
電力販売費用	9,643	8,531
雑損失	43	256
営業外費用合計	9,687	8,788
経常利益	437,586	832,301
特別利益		
固定資産売却益	778	214
特別利益合計	778	214
特別損失		
減損損失	14,857	23,390
固定資産除却損	15,439	0
特別損失合計	30,296	23,390
税金等調整前四半期純利益	408,068	809,125
法人税、住民税及び事業税	255,010	396,086
法人税等調整額	△108,134	△137,506
法人税等合計	146,876	258,580
四半期純利益	261,192	550,544
親会社株主に帰属する四半期純利益	261,192	550,544



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	261,192	550,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,863	51,137
退職給付に係る調整額	5,527	2,418
その他の包括利益合計	22,391	53,555
四半期包括利益	283,583	604,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,583	604,100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年9月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施しました。

① 取得した株式の種類	当社普通株式
② 取得した株式の総数	1,100,000株
③ 取得価額の総額	1,509,200,000円
④ 取得日	2020年9月24日
⑤ 取得の方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,509百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,844百万円となっています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2019年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,140,047	2,439,794	8,579,842	—	8,579,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17	17	△17	—
計	6,140,047	2,439,812	8,579,860	△17	8,579,842
セグメント利益又は損失(△)	743,771	△67,717	676,053	△291,012	385,041

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△17千円は、セグメント間取引消去です。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△291,012千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼製物置」セグメント及び「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「鋼製物置」セグメント5,841千円及び「オフィス家具」セグメント9,016千円です。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年8月1日至2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,477,579	2,477,876	8,955,456	—	8,955,456
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	77	77	△77	—
計	6,477,579	2,477,954	8,955,534	△77	8,955,456
セグメント利益又は損失(△)	1,047,227	△18,710	1,028,517	△266,225	762,291

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△77千円は、セグメント間取引消去です。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△266,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては23,390千円です。